



のびのび

2020年度校長室だより 第6号 令和2年10月1日

湯田小学校のキャッチフレーズ：あしたも会おうね 温かい学校 ～ 学び合い ～

2020年度チャレンジ目標：湯田小ABC 合い言葉：やさしい言葉がひびきあう

秋に実らせたいもの

校長 伊藤 豊

「暑さ寒さも彼岸まで」とはよくいったもので、朝夕だけではなく日中も過ごし易い気温となりました。この写真は、先日5年生が稲刈り体験をさせていただいた模様です。毎年、伊藤貞夫



さんにご心配いただき、本校の5年生が稲作体験をしています。今年は、県内の田んぼをウンカが襲い、5年生が植えた稲の多くがその影響を受けてしまいましたが、幸い被害を免れた稲にはたわわに穂が実っていました。

学校は、10月を迎えます。春から新型コロナウイルス対策で右往左往させられていますが、保護者や地域の皆様の「湯田っ子ががんばれ」という声援に支えられ、子供たちは間違いなく成長した姿を見せてくれています。学校運営における最大の目的は、子供の成長にあります。本年度は特に「やさしい言葉が響き合う」学校運営をめ

ざしています。「響き合う」段階にまでは未だ至っていませんが、今の子供たちなら必ずこの目標に到達してくれるものと信じています。感染状況を考えると、全校児童が一斉に集う行事の開催は未だ難しいと考えますが、学年単位、学級毎に学習内容を工夫して、子供たちの期待に応える時間の創出に引き続き取り組みたいと思います。子供たちが実らせるものは目に見えにくいものですが、「大切なものは見えない」と、かの日野原重明先生もおっしゃっています。今月も引き続きご支援ください。

子供が輝く時間

子供たちが運動を通じて仲間と力を合わせる喜びや、互いに切磋琢磨しながら伸びていく機会として、学年毎に種目を決めたクラスマッチを実施していくことについて、先月号でお伝えしました。先日、3年生がクラスマッチを開催しました。児童の中から実行委員会が組織され、当日までに運営を相談したり、プログラム作成やあいさつ、進行を行ったりしました。種目は3つ、「ハリケーン」「綱引き」「かけちゃあやーよ」でした。事前に体育の時間で競技の練習をしたり、実行委員会は休み時間に進行の打ち合わせを行ったりと、自分たちの力で盛り上げる、できるだけ自分たちの力で作り上げるといった経験ができたようでした。会場が運動場とはいえ、教員は、密集や密接を可能





な限り回避する声かけや工夫をしました。私も前半を近くで見学しましたが、がんばる仲間自然に励ましの声をかけたり、実行委員の説明を聞くために進んで静かにしたりする姿が見られ、とてもうれしくなりました。実行委員を主役にして、できるだけ自主的な運営を促そうとして教員も苦勞していました。クラスマッチ終了後には振り返りの時間を設け、よい姿を称賛し合っていましたが、この経験が日頃の学習にフィードバックされていくことを期待したいと思います。

お待たせしました

非構造部材落下防止のために、長いこと体育館が使用できませんでした。工事の間、子供たちもいろいろとがまんすることもありましたが、何のために工事が行われているのかを一人一人がきちんと理解してくれていました。

このたび、写真のとおり工事が完了いたしました。出入口の扉の塗り替えや天井の雨漏り防止工事も行われました。当初の予定では10月1日から使用可能でしたが、塗料の揮発剤濃度が少し高いために、早ければ10月6日（火）から使用開始になります。保護者や地域の皆様にも大変お待たせしご不便をおかけしましたが、床も天井も新しくなった本校体育館を安心してどうぞご利用ください。



「工事前」



「工事後」 変わったのはどこでしょう？

